

みんなで幸せになろうよ！  
**(有)芝原新聞販売**

**ASA 大田中央**

**ASA 東大井**

2010.5月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。朝日新聞販売店発「近所散歩」ミニコミ

# 歩く目的

No.37  
(毎月25日発行)

**山田くんの印刷本舗**

少ない数の(軽印刷)  
チラシ印刷・折込  
お気軽にご相談ください!!  
☎(3751)3766 (有)芝原新聞販売 担当/山田



モーニングセット(525円)  
※写真はタマゴを1個追加で630円。



店主の久野さんは、まるで優しいお母さんのように好みを気遣ってくれる。



一杯一杯丁寧に淹れる珈琲の香りがカウンターにのぼる。



## D・A・T (ダット) (品川区東大井1-24-7)

お店に入る前から漂ってくる美味しそうな料理の香り。ドアを開けるとカウンター越しに店主の久野さんの明るい笑顔。モーニングを注文すると「タマゴはどんな焼き方にする？」半熟目玉焼き、オムレツなど可能な限り希望を叶えてくれるのだ。「何度も食べにくる人が飽きちゃかわいそうだから」。隣では、トーストにタマゴを乗せ、マヨネーズをかけたスペシャルメニューを平らげようという人。久野さんの優しさが作る、家の朝ご飯のような自分好みの朝食で楽しく一日が始まる。

●京急線「鮫洲」駅下車5分/営:8時半~22時  
(モーニング8時半~11時)/日休/問(3450)6602

### タマゴも好みで

例えば…タマゴはスクランブルエッグ、半熟目玉焼き、両面焼き、オムレツ、玉子焼きなどしてくれる。

### 手作りサラダ

朝食の幸せ感増す、手作りのポテトサラダやオニオンサラダ。こういう物は朝は倍おいしい!

## 池上本門寺朝市 (大田区池上1-1-1)

第3日曜日の朝。本門寺へ向かううち、自然とお腹も減ってくる。本門寺の石段の下には、池上の商店街のお店を中心に、シートやテントでたくさんのブースが並び賑わっている。ぐるりと廻ってみると、「プチドルフィン」の本門寺あんぱん、「ふるさと」の子チミなど、朝ご飯にうってつけの品々。色々調達したら、最後は「ロースティングカフェ」の朝一番で焙煎した珈琲。青空の下石段に腰掛けた朝ご飯、この気持ちよさは格別。これからの季節ならではのお楽しみです。



●池上線「池上」駅下車10分池上本門寺門・石段下/3月~6月、9月~12月の第三日曜日の8時~昼頃迄/小雨決行/次回朝市:5月16日(日)、6月20日(日)

池上商店街のお店だけでなく、山形県などの地方産物のブースも多く出ている。



### 選べる市の朝ごはん

あんぱん、サンドイッチ、子チミなど。その場で食べられる地元の名物が並んでいる。

### 朝から青空ごはん

市でごはんを仕入れたら、本門寺の散歩道でいい場所みつつけよう。



朝焼きたてのプチドルフィンの本門寺あんぱんも。(2個入り260円)

# ホテルモントレ山王

(大田区山王1-3-1)

大森駅の山王口から1分。スタンドグラスの丸い窓がある、洒落た白いホテルのレストラン。シャンデリアとこげ茶の木の床。朝の光あふれる空間でいただく朝食だ。和洋あわせて約30種類の料理が、常に補充されていつも出来立て。好きなものを好きなだけ食べられるビュッフェ形式はやっぱり楽しい、思わず何度も料理の方へ行ってしまう。パレットのりの効いた白いテーブルクロスの上で食べる朝ご飯に、宿泊客ならずともいつの間にか旅行に行った気分…。

●JR線「大森」駅下車1分/営:24時間(朝食7時~9時※土日祝は9時半迄)/無休  
問(3773)7766



朝食ビュッフェ(1,500円) パンは4種類、他にシリアル、ヨーグルトなども。サラダやフルーツもたくさん食べられる。



## 優雅なホテルの朝

スタンドグラスから差し込む朝日の中、ゆったりと朝ご飯を味わえる。

## 和洋約30品のビュッフェ

和食も洋食も好きなものを好きなだけ。旬の食材を取り入れたメニューも充実。

19世紀初頭の南欧をイメージした。



和食のメニューも充実。おかゆもある。

# ゆで太郎大井町店

(品川区東大井5-15-15)

「Aカレー入りまーす」と店員さんの声。小ぶりの丼に盛ったカレーと蕎麦の朝定食Aカレー(340円)。通常メニューでカレーと蕎麦のミニカレーセットもあるが、こちらは550円。やはり朝の方がお得。「カレーは懐かしい味がするってよく言われます」と、店員さんが語るように、たまねぎがとろとろにとけた「おうちカレー」の味。蕎麦の味とそばつゆのかつお節の風味が誠に相性よし。店内では蕎麦をすする音とスプーンが丼にあたる音が絶え間なく、その人気の高さを誇っている。

●JR線「大井町」駅下車2分/営:24時間  
※5月から変更あり(朝定食8時半~10時)  
/無休/問(3764)9618



朝定食Aカレー(340円)

## 朝定食にカレー

コクのあるカレーと、香るそばつゆの組み合わせは朝でもやっぱり最強だ。

## 蕎麦は毎朝店内で打っている

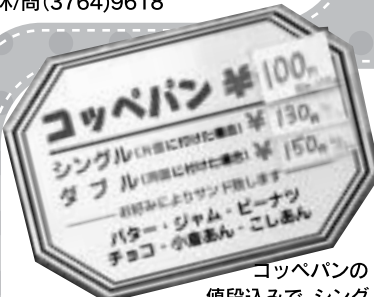
チェーン店ながら、全店粉から作る自家製麺が「ゆで太郎」のポリシー。



朝は揚げ玉のトッピングも無料。一味唐辛子でカレーの辛味をプラスする裏技もあり。



オーダーからたったの2分で出してくれる。



コッペパンの値段込みで、シングルだと1種類(137円)、ダブルだと2種類(158円)になる。



カレーパン、調理パンなど店内には約70種類のパンが常時並ぶ。



ダブルを注文。バターと小倉あんをコッペパンに塗ってもらった(158円)

## 選べるコッペの朝ごはん

バター、ジャム、小倉あんなど6種類。さあ何を選ぼう？

## 珈琲のサービス

店内のパンを購入するとついてくる珈琲が嬉しい。

# 地名の由来【大田区(おおたく)】

昭和22年(1947)に、当時の大森区と蒲田区が一緒になり誕生したのが大田区。名前は前身であった大森と蒲田、両方の区生じたのが大田区。名前は前身であった大森と蒲田、両方の区名から一字ずつをとって命名。ちなみに大森区は馬込、東調布、池上、入新井、大森の5つの町、蒲田区は矢口、蒲田、六郷、羽田の4つの町だった。

次回は「親父と始める!」の特集を予定しています。

バックナンバー差し上げます。(専用インダー付)  
ASA大田中央・ASA東大井までご連絡下さい。

- 第25号「大田市場探検!」
- 第26号「大森の白い浜辺で」
- 第27号「文士の暮らした街」
- 第28号「夏まつり・盆おどり」
- 第29号「ご近所老舗特集その1」
- 第30号「楽しみ大井町駅前」
- 第31号「ご近所 公共施設」
- 第32号「ご近所のお寺めぐり」
- 第33号「ご近所スイーツ」
- 第34号「映画をハシゴ」
- 第35号「すごいジムがあるじゃないか」
- 第36号「龍馬を探して立会川」

# 小麦工房アリス

(大田区中央8-1-9)

レジの横には「コッペ付食コーナー」なるブース。ここは、コッペパンに小倉あんなどの6種類から好みのものを塗ってくれるのだ。塗り方も、シングルと2種類の重ね塗りができるダブルがある。忙しい朝でも、ここで自分好みのコッペパンをテイクアウトして、無料サービスの珈琲をもらえばそれで立派な朝ご飯になる。見た目は給食を思い出すような懐かしさのあるこのコッペパン、食べるとしっとりもっちりとした食感がクセになり、何度でも食べたくなる味です。



●池上線「池上」駅下車10分/営:7時~19時/火休/問(3753)6178